

新型コロナのワクチン定期接種が始まる…福岡市は1万2000円「負担が大きくなり大変だが仕方がない」

10/2 読売新聞



新型コロナワクチンの接種を受ける高齢者（右）（1日、福岡市中央区で）（読売新聞）

新型コロナウイルスワクチンの2025年度の定期接種が1日、65歳以上の高齢者と、重い基礎疾患がある60～64歳を対象に始まった。使用されるワクチンは5製品で、接種費用は1万5600円程度となる。25年度は国の費用助成（1回当たり8300円）がなくなり、自治体独自の補助によって自己負担額には差がある。低所得者は無料となる。期間は26年3月末まで。

福岡市中央区のクリニックには早速、接種希望者が訪れていた。福岡県医師会によると、県内市町村の自己負担額は数千円が多く、同市は1万2000円と最も高い。このクリニックで接種を受けた市民（87）は、「感染が不安で、毎回接種している。お金の負担が大きくなり大変だが、健康のためには仕方がない」と話した。

現在は変異株オミクロン株から派生した通称「ニンバス」が流行しているが、日本感染症学会など3学会は効果が期待されるとして、定期接種を強く推奨するとの見解を公表している。